

専門科目のレポート表紙について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年1月28日）

現在、文学部専門科目において、特に文学部教務係への提出が指定されたものについては、専用の表紙に必要事項を記入して提出することになっているようです。しかし、そもそも文学部教務への提出が必要なレポートは、全体の数%にしか満たないこともあり、この表紙の必要性についての学生内での認知度がかなり低いように感じます。実際に、表紙添付についての規則はクラススの目に入りにくい位置に記述があるのみとなっており、シラバスには説明が記載されておらず、各学期の専修の集まりや各講義においても一度も言及されなかったように感じます。そのためか、表紙の存在を知らずに教務係へのレポート提出を行ったが、受け付けてもらえず、単位の認定がなされなかった、というケースを身の回りで非常に多く耳にします。

問題意識として、この表紙の必要性について学生への周知を徹底的に行っていただきたいと考えています。そして、表紙忘れによる単位の非認定を防ぐために、教務係に印刷した表紙を用意しておいていただきたいと存じます。（全学共通科目やほかの学部ではこの用意はなされていると耳にします）また、この表紙のそもそもの必要性についても再度ご検討いただきたいかと思えます。この表紙に記載する内容は、担当教員のお名前や学籍番号など、レポート本文にも記載するような内容にとどまっています。あえて、別に表紙を用意する必要があるのか、といった点に疑問を感じています。実際に、大半の文学部の専門のレポート提出には、特別な表紙の添付は不要となっています。

以上について、お返事をいただきたく存じます。よろしく願いいたします。

【回答】（回答日：2019年2月1日）

（文学部・文学研究科）

ご意見いただき、ありがとうございます。

レポート表紙の必要性について学生への周知を徹底的に行っていただきたいとのことですが、現在も、KULASISの文学部の学生ホームに掲載するなど、わかりやすい周知を心がけております。ただ、今回のご意見を受けて、よりわかりやすい掲示となるように努力させていただきます。

また、レポート表紙の存在を知らずに教務掛へのレポート提出を行ったが、受け付けてもらえず、単位の認定がなされなかったケースを多く耳にされたとのことですが、教務掛では、レポート表紙を付けずに窓口へ提出して来た学生には、ダウンロード方法を伝えて、情報端末室や自宅で出力し、再度表紙を付けて提出するように指導しています。

窓口でむやみに受取を断るような対応はしておりません。(レポート表紙を付けずに提出に来たほとんどの学生は、そのような形で再提出し、教務掛も受領しております。) ついで、教務掛に印刷したレポート表紙を用意しておいて欲しいとのご提案ですが、文学部・文学研究科では、原則レポート表紙を作成し、添付することもレポート作成の一環と考えており、加工可能な Word ファイルをダウンロードできるようにしております。自宅等でレポートを仕上げ、提出下さい。

最後に、学部専用のレポート表紙は不必要ではないかとのご提案についてなのですが、実際には、学部教務掛への提出が必要なレポートは、数%ではなく全体の30%弱であり、提出冊数も平成30年度後期・通年科目では、千冊強となっております。

文学部・文学研究科では、よく似た科目名が多数あり、教員も複数科目担当している場合が多いため、定型のレポート表紙が無いと正しく送付することが難しくなります。提出されたレポートが確実に担当教員に渡され、採点される為に定型のレポート表紙は必須となっております。